

よりはぐプロジェクト

第4期事業報告書 & 第5期事業計画書

2014.4.1-2015.3.31

2015.4.1-2016.3.31



ミッション(何をする団体か？)

子どもたちとすべての命が健やかに育つように、
よりそい、ともに育む地域づくりを行う。

ビジョン(どのような社会をめざすのか？)

食や日々の暮らし、顔の見える関係を大切に、
自然体で暮らしていく社会の実現。

活動における原則

1. 様々なスタッフの特性を活かす。
2. 話ができる、ほっとする、元気が出る場づくり。
- 3.

緊急支援

募金活動、
物資支援、
よりはぐカフェ、
ML、
よりはぐ便り、
講師、
相談対応

被災者同士の つながりづくり

よりはぐカフェ、
保養、
ほっ♪とハウス、
ML、
よりはぐ便り、
講師、
物資支援、
相談対応

避難・移住支援、 被災地支援、 交流促進

ほっこりツアー、
よりはぐカフェ、
ほっ♪とハウス、
寿朗の郷、
ML、
よりはぐ便り、
講師、
物資支援、
相談対応

地域住民とのつながりづくり、 日常生活・子育て支援

なちゅはぐ、
りんこずキッチン、
ほっ♪とハウス、
寿朗の郷、
相談対応、
ML、
よりはぐ便り、
講師、
物資支援
うまれる上映会

なちゅはぐ、
相談対応、
ほっ♪とハウス、
寿朗の郷、
りんこずキッチン、
ML、
よりはぐ便り、
物資支援

第1期
(2011年度)

第2期
(2012年度)

第3期
(2013年度)

第4期
(2014年度)

第5期
(2015年度)

第4期事業報告書 2014.4.1-2015.3.31

「子育てひろば なちゅはぐ」

子育ての孤立感を解消するために、子育て支援活動を実施(2014. 9. 9オープン)

毎週火曜・水曜・木曜日 9:30~15:00

利用登録している家庭数 72組(世帯) 避難世帯利用家庭数 18組(世帯)

「りんこずキッチン」

地元の食材を使ったお料理広場による子育て応援事業

倉敷市で7回、矢掛町で3回、浅口市で2回開催

参加家族避難のべ95家族(うち避難家族のべ19家族) 他に月1回サークル実施

「ほっ♪とハウスくらしき」

保養と移住のための短期滞在住宅

お問い合わせ総数 32件 宿泊総数 14組

「寿朗の郷プロジェクト」

岡山の安心安全な野菜を被災地にお届けする

出荷 約100件(約200箱)

「うまれる上映会」

ドキュメンタリー映画「うまれる」上映会を通した子ども・子育て応援ネットワークづくり

2014.7.13(日) 参加者217名

「よりはぐカフェ」

5／25開催 参加者11家族

「よりはぐ便り」

第7号(2014. 9. 17発行)、第8号(2015. 3. 31発行)

講師

8／5 岡山県高等学校社会問題研究部交流学習会 参加者15名

6／18 玉島公民館「寿大学」 参加者60名

相談対応、物資支援

隨時。相談は、専門機関と連携して対応。

第5期事業計画書(案) 2015.4.1-2016.3.31

子どもたちとすべての命が健やかに育つように、よりそい、ともに育む地域づくり

めざす社会

食や日々の暮らし、顔の見える
関係を大切に、
自然体で暮らしていく社会
の実現。

なぜそれが必要か

人と人が出会い、命のつながり
の中で安心して暮らしていく
日常の大切さを、原発事故か
ら学んだから。

そのためにやること

地域住民とのつながりづくり、
日常生活・子育て支援

対象

被災者

地域住民

日常生活支援
ほっ♪とハウス
寿朗の郷
ML
相談対応
物資支援

日常生活支援
りんこずキッチン
子育て支援
なちゅはぐ

ネットワークづくり
地域の子育て団
体の応援

情報発信 よりはぐ便り

組織基盤強化

- ① NPO法人化、理事会の開催
- ② 専門機関との連携を広げる
- ③ ボランティア(学生・一般)の参加を増やす

名称	よりはぐプロジェクト
設立	2011年5月22日
所在地	岡山県倉敷市玉島服部2049-2
役員(案)	平尾博美(代表)、森田靖(副代表)、笹川明子(副代表) 藤原園子(監事)
会員数	正会員5名、賛助会員8名
ブログ	http://blog.canpan.info/yori-hug/
メール	yori.hug.pj@gmail.com